



10月10日、「第38回綾瀬防火協会初期消火競技大会」が開催されました。綾瀬市消防本部訓練場にて。



地産地消の推進に向けたさらなる支援策の拡充を



岡 德行

●選挙公約の実現について

Q ブランド化を進めているトウモロコシの地産地消を実現するため、育成方法の研究への支援や生分解マルチシートの購入費補助率を上げるなど、支援を拡充する考えは。

A 農業者も含め関係団体の意見を聞きながら、産業全体を成長させるために取り組んでいきたいと考えている。

Q 厚木基地の遊休地や基地周辺の国有地を候補地として、国立病院などの誘致を国に働きかけていく考えは。

A 近隣の座間総合病院がキャンパス座間の一部返還跡地を利用して建てられた例もあるため、実現に向けて粘り強く取り組んでいきたい。

●消防行政の推進について

Q 消防職員の欠員が続いている中、定数の加配、生涯賃金や労働環境などの改善が必要と考えるが、見解は。

A 労働環境や処遇改善に加え、定数の在り方などを検討し、本市の消防士として働きたいと思ってもらえるような魅力のある組織づくりと情

報発信が必要と考えている。

●廃家電製品の処理方法について

Q 民間活力を生かした廃棄物の処理は、今後重要な視点になるが、市の考えは。

A 6年5月から廃家電回収に民間活力を生かした処理方法を実現しており、資源物収集所の運用も委託する。



市公式マスコットキャラクター「あやぴい」

志政あやせ 齊藤 慶吾

●定住人口を増やす取組について

Q 少子高齢化や人口減少への危機感から、定住人口を増やさなければならぬという強い思いがあると認識しているが、どう取り組むのか。

A 定住人口の増加はさまざまな施策の複合的な実施による魅力的なまちづくりにより実現できるものと考えている。公共交通の充実では、地域の皆様の意見、広域的視点などから、本市の公共交通ネットワークの全体的な構想を

定住人口増加に向けた取り組みに対する市長の考えは





支援を必要とする児童・生徒への課題に対する考えは



志政あやせ 石井 麻理

●支援を必要とする児童・生徒等の現状と課題について

Q 令和7年4月に開所予定の大和綾瀬地域児童相談所の開所に向けての進捗は。

A 現在、県により改修工事を行っているが、エレベーター工事の遅れにより、早くも7年8月以降の工事完了を予定しており、具体的な開所時期は決定していない。

Q 綾瀬市就労準備支援事業の運営者は、地元企業との結び付きが強い方がよいと考えるが、どうか。また、運営場所を増やす考えはあるか。

A 委託事業者は地元企業を定期的に回り、事業案内や就業体験の協力依頼等を行っており、今後、連携や関係性の

越川 好昭



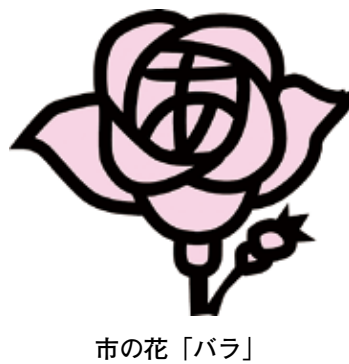
市長選挙投票率から市民の関心をどう捉えているのか



●市政に対する市民の関心を市長としてどう捉えているか

Q 市長選挙の投票率は前回の8年前と比べ10ポイント低い43%であったが、この結果をどう見ているか。また、市政に関して市民に関心を持ってもらうことについては、どのように考えているのか。

A 今回の市長選挙では、多くの方と現在の綾瀬が抱える課題について対話をする中で、市民の市政への関心は決して低くないと実感している。今後、投票率が低い現役世代や若者を含めたあらゆる世代の方にさまざまな場面で行政運営に参加してもらい、市民主体の市政を実感し関心を持ってもらうことが、投票率



市の花「バラ」

ンフラ、福祉サービスでは、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、災害に強い都市基盤整備、病院の誘致を含めた医療体制の充実、警察署の設置、加えて、デジタルの力で地域課題の解決に取り組んでいく。実施にあたっては、過度な市民負担が生じないよう適切な財政運営を行う。

議会用語のミニ知識

「本会議と委員会」

議会の会議には、大きく分けて本会議と委員会があります。

本会議とは、議員全員で構成する会議のことをいい、年4回3月、6月、9月、12月に開催され、必要に応じて臨時会も開催されます。議会としての権限や能力は本会議に認められるもので、議会の議決、承認、同意などは、この本会議で行わなければならない法的な効力はありません。

これに比べ委員会は、議会の内部組織として、議員の一部をもって構成する会議のことをいい、議会の運営を協議する議会運営委員会の他に綾瀬市には、3つの常任委員会と基地政策特別委員会があります。これらの委員会は、本会議での審議の予備的審査、調査機関として設置されるものです。

